

国際キャリア教育セミナー2026日程案

豊富な経験を有する講師とともに、働くとは何か、そして仕事と地域や世界とのつながりについて考えます。テーマ別の分科会ごとに、ワークショップやディスカッションを取り入れた、メディア講義形式の集中授業です。

■事前指導（オンライン、参加必須）

国際キャリア教育：2026年7月22日（水）18:00～19:30

International Career Seminar：2026年7月23日（木）18:00～19:30

■セミナー日程（国際キャリア教育、International Career Seminar共通）

1日目 9:30～17:30

午前
開講式／オリエンテーション
全体講義／グループディスカッション
--- 昼食休憩 ---
午後
パネルトーク
趣旨説明／発表プレゼン方法説明
分科会Ⅰ（分科会講師による講義等）

2日目 9:00～18:30

午前
分科会Ⅱ （グループディスカッション、発表準備等）
--- 昼食休憩 ---
午後
分科会Ⅲ
中間発表
発表準備

3日目 9:00～14:50

午前
発表準備
全体発表
--- 昼食休憩 ---
午後
ふりかえり／意見交換／全体総括等
閉講式

日程は変更になる場合がありますのであらかじめご了承ください。

申し込み方法

申込方法：1. 申込フォームから (<https://www.kokusai.utsunomiya-u.ac.jp/career-program/registration/>)

2. 高校生で参加希望の方は、メールにて事務局 (kokuca@a.utsunomiya-u.ac.jp) までご相談ください。

申込開始：2026年6月1日（月）正午 申込締切：2026年6月24日（水）（定員になり次第締め切ります。）

分科会：原則先着順としますが、人数に偏りがある場合は調整させていただきます。

問い合わせ先

宇都宮大学 国際学部 〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町350 TEL.028 (649) 5172/FAX.028 (649) 5171
E-mail kokuca@a.utsunomiya-u.ac.jp



グローバル時代のキャリア形成を考える

国際キャリア教育プログラム

参加者募集

2026 国際キャリア教育セミナー開講!!

国際キャリア教育

セミナー：

2026年

9月19日(土)～21日(月祝)

事前指導(オンライン、参加必須)：

2026年

7月22日(水) 18:00～19:30

定員：50名(先着順)

International Career Seminar

セミナー：

2026年

9月26日(土)・10月3日(土)・4日(日)

事前指導(オンライン、参加必須)：

2026年

7月23日(木) 18:00～19:30

定員：50名(先着順)

共通事項

参加費：無料

実施形態：オンライン（Zoomミーティング）

対象：宇都宮大学生、大学コンソーシアムとちぎ加盟校学生、高校生、他

備考：ご自宅等から参加いただけます。各自、パソコン、安定したネットワーク環境をご準備ください。7月の事前指導は、参加必須です。

詳細はホームページでご確認ください!!



国際キャリア教育プログラム

検索

<https://www.kokusai.utsunomiya-u.ac.jp/career-program/>

※「国際キャリア教育」及び「International Career Seminar」は、栃木県からの支援を受けて大学コンソーシアムとちぎが開講する「とちぎグローバル人材育成プログラム」の大学コンソーシアムとちぎ共通科目として、大学コンソーシアムとちぎ、宇都宮大学が実施するものです。



主催：大学コンソーシアムとちぎ、宇都宮大学

後援：(公社) 栃木県経済同友会、
(公財) 栃木県国際交流協会、
NPO法人宇都宮市国際交流協会、
JICA筑波センター

協賛：(公財) あしぎん国際交流財団

特別協力：宇都宮市創造都市研究センター



国際キャリア教育 グローバル時代のキャリア形成を考える

全体講義

今が「事を起こす」時かも！？ —自分らしく国際的に活動するためのヒント—

講師：吉田 一彦（よしだ かずひこ）

宇都宮大学国際学部 教授、国際キャリア教育運営委員会委員長



全体講義内容：

話す言語や文化の異なる人と国際社会で共同作業をしたい皆さんへ、他者のコピーではつまらないが、ゼロから始めるのは困難だと思っ皆さんへ、自分らしく国際的な何かを企て、取り組み、成果を生み出すことをいっしょに想像してみましょう。

プロフィール：

日本国東北地方、太平洋岸出身のエミシとヤマトの後裔。東京外国語大学大学院地域文化研究科修了。博士（言語学）。ベシスト。大学院在学中に国際交流基金日本語教育専門家として派遣され、在カラチ総領事館（パキスタン）とチュラーロンコーン大学（タイ）にて客員講師。学位取得後の2002年に宇都宮大学留学生・国際交流センターに着任。2017年より国際学部教授。2007年よりJICA青年海外協力隊事務局技術専門委員（日本語教育）。主たる研究テーマは多言語コミュニケーションと外国語学習法。

分科会

分科会講師は変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

国際ビジネス

A. 日本と海外が関わるビジネスの未来について

講師：小川 拓矢（おがわ たくや）

株式会社ユーユーワールド 代表取締役
宇都宮大学客員教授



分科会内容：

弊社が国際物流から海外人材ビジネス、そしてインバウンド対応と業務展開をしていった経緯を元に今後どのように海外とビジネス展開をしていくか、またそこで必要な人材像について一緒に議論しましょう。

プロフィール：

宇都宮出身、宇都宮大学工学部電気電子工学科卒、電子部品メーカーに就職し海外生産の仕組みを学ぶ。その後ユーユーワールドに入社。栃木県で唯一「通関業」の認可を持つ企業である株式会社ユーユーワールドの代表取締役。横浜税関栃木地区保税会の会長や宇都宮大学客員教授も務める。

国際協力・国際貢献

B. 国際人道支援分野でのキャリア形成とグローバル課題の解決に向けて

講師：尾立 素子（おだち もとこ）

認定NPO法人ADRA Japan チーフ・プログラム・オフィサー



分科会内容：

2026年4月現在2億3900万人が世界で人道支援を必要としているが、その背景には、紛争・気候変動等の問題がある。同分科会では、より効果的に人道危機下の人々を支援し、紛争・気候変動等の問題解決に取り組む方法を考える機会を提供する。その他、参加者間の意見交換、講師の現場経験も共有し、キャリア形成に役立てる。

プロフィール：

大学で社会福祉学を専攻後、英国サセックス大学大学院 ジェンダー・暴力・紛争修士号、宇都宮大学大学院 国際学博士号を取得。外国人女性の通訳ボランティア、母子寮での業務経験から、ジェンダー課題について意識するようになった。大学卒業後は、国際協力団体で人道開発支援事業の運営管理を担当してきた。現在は、ウクライナ、エチオピア、アフガニスタン等での人道緊急支援事業の運営管理、性暴力防止の研修活動に取り組む。

主催者メッセージ

宇都宮大学国際学部長 教授 中村 真

「国際キャリア教育」は、参加者が、グローバル化した社会におけるキャリアパスを具体化するための出発点となる科目です。中心になるのは3日間の集中オンラインセミナーです。オンラインで実施することにより、海外交流協定大学で日本語を学んでいる外国人学生も参加し、日本語を使用しながら国際的環境でのキャリア教育を実現しています。4つの分科会では、国際ビジネス、国際協力・国際貢献、多文化共生と日本、異文化理解・コミュニケーションなどのテーマを設定し、グループワークを重ねながら論点を整理し、まとめ、最終日の発表に臨みます。多様な意見を調整しながら協働する経験を通して、課題設定力・対話力・説明力を鍛え、自分の動機づけや強み、価値観などを言語化して、大学での学びを社会でどう活かすかを構想し、設計する基盤をつくります。これからの社会を生きるすべてのみなさんに受講してもらいたい科目です。

多文化共生と日本

C. 「共感」から考える多文化共生

講師：梁 鎮輝（りょう ちんき）

宇都宮大学国際学部 助教



分科会内容：

どんな時代においても異なる文化背景を持つ人々の接触は、様々な摩擦や衝突が伴います。それらの軋轢を乗り越えるためには、社会全体を俯瞰するような視野が必要不可欠であると同時に、一個人として無数の見知らぬ他者の人生をどこまで深く想像でき、各々の苦しみや喜びに理解を示せるのかも重要です。その「共感力」をヒントに皆さんと多文化共生について考えていきます。本分科会は、様々なコンテンツに描かれる「外国人」の表象について改めて考察をしつつ、当事者の声を如何に可視化できるのかを具体的に議論していきたいと考えます。

プロフィール：

宇都宮大学国際学研究科にて博士（国際学）を取得。明徳義塾中学・高等学校教諭を経て2024年より現職。専門は日中比較思想史研究で、150年ぐらい前の人々は何を考え、どのような社会を目指していたのかを読み解こうとしている。

異文化理解コミュニケーション

D. 英語が苦手でも英語で国際交流・国際協力していこう

講師：吉田 一彦（よしだ かずひこ）

宇都宮大学国際学部 教授、国際キャリア教育運営委員会委員長



分科会内容：

国際交流や国際協力について強い意欲も具体的なアイデアもあって、ぜひやりたいのだが、自分の英語力では無理だと思っている皆さん、考え直すきっかけにしてください。1）成果の挙がる英語学習との取り組み方、2）自分らしい能力の生かし方・世界との関わり方について、いっしょに考えます。

プロフィール：

全体講義講師プロフィール参照

参加者の声

- ・講義を聴くだけでなく、参加者と意見交換する場面が多くあり、新しい気づきや学びの多い3日間だった。国際的に活躍していくには、どんなことが必要なのか、今からできることは何かについてじっくりと考えることができる貴重な機会となった。
- ・学びしかないセミナーだった。分科会の活動では、自分の中にあった夢へのヒントが沢山あり、これからどのように行動していけばよいのか、何を大事にしていけばよいのか、とにかく収穫の多い分科会であった。セミナー全体を通じては、先輩後輩との交流が多く、様々な視点からの考えに触れ、自分の視野が広がったのを感じた。特に、先輩方の考えやアイスブレイクの時の進行が印象に残っており、経験からくるものなのだろうと思い、私の憧れ、そして目標となり、自分自身も努力していこうと強く思った。とにかく刺激の多い充実したセミナーで受講して良かったと思う。

International Career Seminar Globalization and Glocalization

全体講義

International Careers Re-visited and Re-examined for Generation Z

講師：Shunsuke KURIHARA, Ph.D. 栗原 俊輔

宇都宮大学国際学部 准教授、国際キャリア教育運営委員会 副委員長



全体講義内容：

What does an international career mean to you? This three-day seminar is for all of us to learn from Generation Z, our students! and try to find the common ground for all of us to work together in the international field. In this session, the students will be engaged and committed to show and expand their eager-to-learn attitude, while the lecturers will support the process with their expertise. Prior to the group sessions, the students will be able to obtain and practice the practical ways of communication and learning style in a multi-cultural environment.

プロフィール：

Kurihara Shunsuke earned a Master's degree in International and Intercultural Management from the School for International Training, USA, and a PhD in International Development from Yokohama National University. His professional career in the international development field includes: Regional Planning & Program Development Advisor (2012-2014) and Rehabilitation & Development Advisor (2009-2011) in Sri Lanka, under the JICA Expert Scheme, and Project Director (2003-2008), Program Officer (2001-2008) in Sri Lanka and Project Coordinator (2000-2001) in East Timor, CARE International.

分科会

分科会講師は変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

International Business 国際ビジネス

A. Moving Targets: Indie vs. Commercial Filmmaking in a Fast-Changing World

講師：John CAIRNS ジョン・ケアンズ

LANTIS株式会社 代表取締役

分科会内容：

Explore the dynamic world of international filmmaking through hands-on activities that compare commercial and independent films. Develop your own film ideas and learn how trends, technology, and culture shape the journey from concept to screen. No experience needed – just creativity!

プロフィール：

John Cairns is a Tokyo-based creator whose work in film, commercials and interactive media spans genres and continents. He studied writing and film at the University of Iowa and the Sorbonne, and earned his MFA from Syracuse University. He has taught at Tokyo Film Center and led workshops at YouTube and Digital Hollywood. His independent films have screened at Fantasia and BIFAN, and he leads Lantis KK, a boutique creative studio.



International Cooperation/Contribution 国際協力・国際貢献

B. Disaster Risk Reduction Movement in the Era of Climate Change

講師：Takeshi KOMINO 小美野 剛

CWS Japan 事務局長

分科会内容：

This course explores the importance of community-led disaster risk reduction in the era of climate change, and examine the critical skills required to understand vulnerability and capacity and to develop concrete measures for risk reduction, through specific project case studies. It will highlight why disaster resilience needs to become a 'movement' beyond any 'projects'.

プロフィール：

General Secretary of CWS Japan. Also serves as Chairperson and a member of the Executive Committee for the Asian Disaster Reduction and Response Network (ADRRN), the joint secretariat of the Japan CSO Coalition for DRR (JCC-DRR), the Regional Advisory Group for the Global Network of CSOs for Disaster Reduction (GNDR), and as a steering group member of the NGO unit at Japan Platform (JPF). He graduated from Doshisha University and holds an M.A. in Development Studies from Brandeis University. He has engaged in humanitarian operations in Afghanistan, Pakistan, Myanmar, and Thailand before founding CWS Japan during the response to the East Japan Earthquake and Tsunami.



MESSAGE FROM THE ORGANIZER

The International Career Seminar (ICS) is an intensive, three-day online program conducted in English. By hosting the program online, we enable international students at partner universities abroad to participate, thereby offering career education in an international setting. It is designed to help students explore "international careers" by connecting global issues with local realities and their own personal goals. Through interactive lectures, group discussions, and collaborative workshops, participants examine themes such as globalization and "glocalization," and consider how people can work across cultures and sectors. Students are encouraged to articulate their motivations, strengths, and possible career pathways, while also developing practical communication skills for international settings. A key feature of ICS is its emphasis on learning with diverse peers: students work in teams, share perspectives, and deliver short presentations, which fosters both critical thinking and cooperation. Overall, ICS provides a structured opportunity to broaden global perspectives and translate them into concrete career planning. I strongly recommend this course to everyone who will live in a global society in the future.

Multicultural Societies and Japan 多文化共生と日本

C. Understanding of the Labor Market from Gender Approach

講師：Yajiao LI, Ph.D. 李 亜姣

宇都宮大学国際学部 助教

分科会内容：

Why do occupational segregation and gender wage gaps exist? This course aims to deepen students' understanding of the labor market by analyzing gender gaps in the workplace from the perspectives of mainstream economics and feminist economics. Students will discuss which labor policies can promote gender equality.

プロフィール：

Yajiao Li is an Assistant Professor in the School of International Studies, Utsunomiya University. Her research interests include gender and political economy, mainly in the Chinese context. She has been working on several projects examining women's economic rights in developing countries, including how China's capital accumulation interacts with patriarchy in land development and leads to economic disparities and gender gaps, and how middle-class women are involved in debt within the process of financialization in China.



Cross-cultural Understanding/Communication 異文化理解コミュニケーション

D. Intercultural Competence for Global Careers: What Does It Take to Work Globally and Glocally?

講師：Chie SUGINO, Ph.D. 杉野 知恵

宇都宮大学留学生・国際交流センター 教授

分科会内容：

This interactive session explores the skills, attitudes, and mindsets needed to work effectively across cultures. Drawing on real professional experiences, we examine the concept of intercultural competence, how it develops, and why it matters for global careers. Participants will reflect on their own experiences through collaborative dialogue.

プロフィール：

Chie Sugino is a Professor at Utsunomiya University, specializing in intercultural collaborative learning and the internationalization of higher education. Before entering academia, she spent nearly 20 years at the Ministry of Foreign Affairs of Japan, serving in the United States (Chicago), Bangladesh, Jordan, and Sudan. In these diverse settings, she was engaged in Official Development Assistance (ODA), as well as bilateral and multilateral negotiations and cross-cultural collaboration. Drawing on both diplomatic and academic experience, her work explores the competencies needed to navigate multicultural environments and how such competencies can be fostered through international collaborative learning (kokusai kyoshu) and cultural interaction on university campuses.



VOICES

- ・ This seminar gave me a good opportunity to think about my future career. Throughout the workgroup sessions, we had plenty of time to speak English, which helped me develop my speaking skills. Getting out of my comfort zone was a very encouraging message for me, and I will keep it in mind for the future.
- ・ This program was a great opportunity for me. I learned a lot from everyone. I was able to improve my English speaking skills as well as my public speaking skills. Everyone was very kind and communicated openly. Also, all the professors and student staff gave us valuable guidance. Thank you very much for these three days. Finally, I would like to say that ICS was a valuable experience for students from different countries.